

## 国交省の松下氏を講師に迎え理解深める

関西鉄筋工業協同組合

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）は 2 月 24 日、大阪府中央区の建団連会館で「保険未加入企業の排除」などをテーマとした勉強会を開催しました。

この勉強会は、昨年 6 月に国土交通省の建設産業戦略会議がまとめた「建設産業の再生と発展のための方策 2011」の中で、技能労働者の雇用環境の改善のための主要施策の一つとして示された「保険未加入企業の排除」について理解を深め、今後の取り組みに生かしていこうというもので、当日は会員・賛助会員ら約 40 人が参加し、講師を務めた国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課の松下雄介・専門工事業高度化推進官の話に熱心に耳を傾けていました。

勉強会の冒頭で挨拶した岩田理事長は「保険未加入企業の排除については、本当にできるのかという意見もあるが、これは国の方針としてすでに決まったことであり、皆さんも認識してほしい。そして『できない』ではなく、加入促進を実現していくための方策を一緒に考えていきたい」と勉強会の成果に期待を寄せました。

引き続き、松下推進官が「建設産業の再生と発展のための方策 2011」の概要について説明するとともに、保険未加入企業の排除については、建設業担当部局の対応として建設業許可・更新時の際の加入状況のチェックや立入検査、経営事項審査で指導し、許可業者の加入率 100%を目指すこと、そして指導・通報しても加入しない企業には、監督処分も検討することなどを解説しました。また、建設業法施行規則を改正し、施工体制台帳と再下請通知書への社会保険の事項を追加するほか、元請・下請企業には啓発・指導・加入者優先を段階的に行い、最終的には工事現場からの未加入企業の排除を図っていくとの説明が行われました。

松下推進官は勉強会の締めくくりとして「保険に加入するという当然のルールを守ることが建設業界の未来をつくっていくことになる」と強調し、行政の立場から実現に向けた理解と協力を求めました。



専門工事業高度化推進官 松下雄介様



講習風景